

平成30年度 事業報告

竹内理事長のもと、佐野春仁校長・桐浴邦夫副校長体制により学校運営・広報活動また学校外での活動を通して本校の認知度を上げる努力を行っている。

本校教育方針「**建築の基礎力を身につけ、伝統や木造建築を理解し、現代に生かすことのできる建築のプロフェッショナルを育てる**」に準拠し、「**京都・伝統・木造**」を前面に出した広報を多方面に向けて行い、他校との差別化を図っている。また、長年続いている入学者数が定員を下回る厳しい状況をふまえ、学校案内・HPなどの刷新等々において前記教育方針に加え、「**伝統ある建築専門学校**」を全国的にアピールすることで高等学校や地域において広報活動の強化を図った。2019年度の募集において建築科二部は24名とほぼ昨年どおりであったが、建築科の入学生が39名と昨年を下回った。また、2年進級時までに退学する者が多く、より在校生に対するケアが必要である。昨年同様、建築科の入学生は従来よりも伝統や木造、大工、一つ上の学びを目指す学生が増えている。今後は方針をさらに強化、より意志を持った学生を集めることで本校の個性を強化し、特性を活かした教育を進め、磨きをかけていく。

また、一層深刻化する高等学校卒業生数の減少に対応するため、**高校訪問の強化・組合との連携アップ・同窓会組織の有効活用**など広報活動の在り方を見直し、引き続き本校を知ってもらうための活動を進めていきたい。

2019年度卒業生44名巣立つ

建築科27名、建築科二部17名が卒業。

小規模校ならではの手作り教育

学生数の少ない小規模校の特性を活かし、学生と教職員が一体となって建築を学び、豊かな教養を持った社会人として巣立つことを目標に日々の学校運営を進める。授業は、建築の基礎をきめ細かく教授、二級建築士が持たなければならない知識の習得に努めた。加えて、実習・演習はもとより、各授業でも本校の特色とする「**京都・伝統・木造**」を盛り込んだ授業を展開した。また、従前からの資格取得のための対策講座に加え、一人ひとりの個性を伸ばすゼミの開講、感性を伸ばし社会への適応力をつける課外活動なども積極的に進めた。さらに、学校生活に適応しにくい学生や不登校気味の学生への目配り、学力不足のための落伍者を最小限に食い止めるために、四半期毎に面談を行うとともに数学や力学の苦手科目克服の授業を工夫している。

今年度の建築科2年後期の卒業制作木工コースでは、昨年から引き継ぐ鞠小路の町家改修、新規の島原の町家改修及び堀川茶室、竹茶室の制作等を行った。

入学生の確保及び就職

入学生の確保

少子化の影響を受け、入学生確保についての大学や短大及び専修学校等での学校間の競争はより激化している。その中で本校の教育方針を前面に掲げ、他校との差別化を図った学生募集を行った。

2019年度の入学生は建築科39名と昨年より8名減、建築科二部では24名で昨年より2名増となった。伝統建築研究科では入門講座8名、教養講座6名が受講する。

実施事項

1. 京都(102校)、滋賀(60校)を中心に、大阪(382校)、奈良(52校)、兵庫(120校)と範囲を広げて**高校訪問(全716校)**を行った。
2. **オープンキャンパス**を23回開催した。(昨年22回)
…参加者に在校生を主体とする設計作品の紹介に加えて、初歩的な体験授業(木工体験、伝統建築見学体験、ミニ講義等)を行った。また、建築科二部の志願者を対象とした夜間の説明会を6回開催(参加者22名、昨年参加者19名)した。
全出席者は176名と例年以上の参加があった。
(29)153名 (28)154名 (27)162名 (26)99名
…高校での指導もあり、オープンキャンパスへの出席者は増加傾向である。
出席者をより志願者につなげる工夫を検討したい。
3. **学校案内**及び**ホームページ**には学校や学生の活動を紹介、特にホームページには「建工祭」での堀川茶室制作風景や在校生へのインタビュー動画をUPし、高校生や保護者等に関心を持ってもらえるよう充実を図った。

就職指導

1. 平成30年度就職率は96.1%であった。(建築科 (設)6人(施)5人(大)12人(他)2人)
今後とも高い就職率が維持できるよう、就職ガイダンスや個人面談等、きめ細やかな支援体制の更なる向上を図る。
2. 平成30年度も244社とたくさんの求人をいただいた。
(29)258社 (28)285社 (27)245社 (26)284社 (25)237社 (24)155社
しかしながら昨年同様施工管理の求人が多く、設計・大工の求人開拓が必要である。
3. 京都の企業人、卒業生による「ミニレクチュア」を数回行い、業種の紹介・就職指導等を行った。

学校行事の実施

卒業制作展

3月1日(金)～3月3日(日)の3日間「北大路タウン内 スペースろさんじ」を会場に、また卒業式当日(3/15)も別室を借り、卒業制作展を開催。卒業式に来られた保護者の方々等にも卒業制作を見ていただいた。

学園祭「建工祭」

1月2日(金)～4日(日)の3日間、堀川に茶室を設置し、学園役員、市民講座会員、卒業生および近隣の方々にお茶をふるまった。参加者は200名と大盛況であった。
その他、よしやまち校舎で学生・教員の作品展示や餅つき(学内対象)を行った。

資格試験対策

1. 二級建築施工管理技士(学科試験)受験対策講座 [在校生 無料] (担当: 渡邊・浅野・高橋)

・受験対策講座を10月3日～11月9日の間、13回開講した。

・学科試験 11月11日 実施

受験申込者14名 受験者12名 合格者1名 合格率8.3% (全国合格率62.8%)

と低迷。講師入れ換えを含め、反省を来期に活かしたい。

2. 二級建築士受験対策講座 [卒業後 有料] (担当: 菅原・山口・渡邊・永良)

・学科コース、製図コースを開講し合格率UPを目指した。

①学科受講者 23名 合否判明者15名 合格者8名

合格率53.3% (全国37.7%) [昨年合格率72.2% (全国36.6%)]

②製図受講者 23名 合否判明者12名 合格者6名

合格率50.0% (全国54.9%) [昨年合格率54.2% (全国53.2%)]

3. 3D-CAD講習 [在校生は無料] (担当: 山口)

授業より一段進んだ3D-CAD上級コースの学習機会を与えるため夏休み中の夜間に5回開講。スケッチアップのソフトを使用し講習を行った。(受講者 25名)

4. CAD検定 [在校生・一般 有料]

「全国建築CAD連盟」の『建築CAD検定試験』を本校で行った。

・10月28日実施 (2級・3級実施)

2級受験者…0名 合格者…0名

3級受験者…1名 合格者…0名

就職に際し有資格者は有利である旨のPRを強化し、受験者数、合格者数を増やす必要がある。

市民講座

6月23日(土) 「ウィリアム・メレル・」一品格とぬくもりのある建築空間―

創立記念講演として開催。

①「ヴォーリズ建築の物語 ～時空を超えたコラボレーション～」

公益財団法人近江兄弟社本部事務局長(ヴォーリズ記念館館長) 藪 秀実 氏

②「ヴォーリズ建築の特色 ～住宅を中心に～」

大阪芸術大学教授 山形 政昭 氏

於: 京都府庁旧本館正庁 参加者70名

10月13日(土) 「近代建築としての和風空間 ―松殿山荘の見方―

京都建築専門学校副校長 桐浴 邦夫

於: 重要文化財 松殿山荘 参加者52名

12月8日(土) シンポジウム「創造力を育むまちとは？」～京焼の五条坂で考える～

・立命館大学文学部教授(考古学) 木立雅朗 氏

・陶芸家 猪飼祐一 氏

・六原自治連合会事務局長 菅谷幸広 氏

・京都大学工学研究科准教授(建築学) 田路貴浩 氏

於: 京都府庁旧本館正庁 参加者65名 (一般36名、学生29名)

見 学

1. 明治村 [5月13日(日) 貸切バス利用 全学生希望者] … 学生参加者 44名
2. 神戸方面 [風の教会(安藤忠雄)→箱木千年家→浄土寺浄土堂]
[11月18日(日) 貸切バス利用 全学生希望者] … 学生参加者 26名
3. 上賀茂神社、太田神社、大將軍八神社、北野天満宮、平野神社、大報恩寺、三十三間堂、
豊国神社、醍醐寺、東寺、平等院、宇治上神社、東福寺、大徳寺、東本願寺涉成園、
知恩院、建仁寺、清水寺 他
(建築科1年 伝統建築演習)
4. 醍醐寺、相国寺、大報恩寺、松殿山荘、伊佐家住宅(八幡市)、酬恩院(京田辺)、拾翠亭、
閑院宮邸、仁和寺、和中庵
(伝統建築研究科 入門講座・基礎教養講座)

施設設備の更新・充実

昨年3F教室の机・椅子を更新したのに続き、今年度は5F教室も更新した。

平成の京町家について

モデル住宅展示場閉場に伴い「平成の京町家普及センター(本校塩小路学舎)」解体撤去を行い、
移築のため、京北森林組合内に作成した倉庫へ部材を置かせてもらっている。